

入鹿小だより

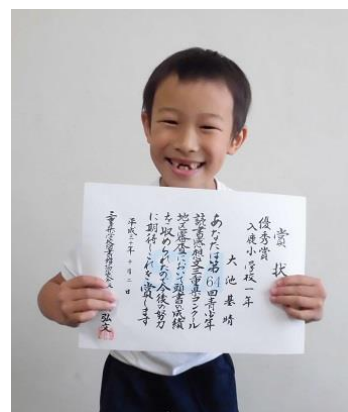
～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30年 10月 24日
第 14号

基晴さん やったね 紀南地区読書感想文コンクール

1年生の大池基晴さんが、夏休みに書いた読書感想文を第64回青少年読書感想文全国コンクール紀南支部の大会に出したところ、小学校低学年の部（1・2年生）で見事「優秀賞」に輝きました。この優秀賞というのはいわゆる1等賞のことです。その結果、基晴さんの作品は同コンクールの三重県大会に出品されることになりました。しかも、紀南地区で優秀賞に選ばれたのは基晴さんひとりだけでした。

感想文の題名は「かいけつゾロリのだだだだいぼうけん」です。基晴さんは「かいけつゾロリ」が大好きで、多目的ホールの階段に座って読んでいる姿をいつも目にしました。そして、学校に置いてあるシリーズを夏休み前に全部読み切ってしまいました。そんな大好きな本を題材にして書いた感想文ですから、基晴さんがいかにかいけつゾロリを好きなのか、文章のあちこちにその気持ちがよく表れていました。



基晴さん、おめでとうございます。県大会でも入賞できるか、とても楽しみです。

サツマイモ 大ピンチ!

学校のサツマイモが大ピンチです。夏休みが終わる頃から、葉に穴が目立ち始めたのですが、今ではすっかり葉がなくなってしまっています。穴が開き始めた頃に原因を調べてみたところ、虫が葉を食い荒らしているようです。子どもたちが食べる予定のイモなので、むやみに葉で虫を駆除するわけにもいかず、こんな状態になってしまいました。イモができていのかどうかとても心配です。



11月の予定

- 2日(金) ALT来校
- 9日(金) ALT来校
- 10日(土) 入鹿中学校文化祭に参加(朝から登校し、給食あり)
- 12日(月) 代休
- 15日(火) 食育指導(栄養教諭来校)
- 16日(金) ALT来校
- 17日(土) 土曜授業(学校公開日:引き渡し訓練)
- 21日(水) 紀南学校音楽発表会(熊野市民会館)
- 30日(金) ALT来校

アマゾン体験学習

運動会、学習発表会と並ぶマナウス日本人学校の3大行事がアマゾン体験学習です。毎年9月に実施していました。マナウスから見てアマゾン川（ネグロ川）の対岸にある砂浜（プライア：アマゾンの川岸には砂浜があるのです）でビーチハウスを運営されているイデタさん所有のイデタプライアでお世話になり、キャンプをする1泊2日の行事です。

プライアまでは低学年と高学年にわかれて、2隻の船で移動です。1隻はホンダさん所有の豪華クルーズ船ピラルク号（写真左側の船）、もう1隻はごくごく一般的なアマゾン川クルーズ船（写真右側の船）。

到着後は縦割り班で、早速、食事の準備です。各班で事前に相談してあったメニューを、各役割に応じて準備を進めていきます。これは入鹿小学校のカレー遠足と似たところがありますね。ちがうのは各班によってメニューがちがうことです。私の知る限りでは、焼きそば、カレーライス、ピラフ、お好み焼き等がありました。それらに加え、どの班にもパイナップルやバナナ、マンゴなど、フルーツたっぷりのデザートがありました。

食事が終わるとレクタイムです。1日めはビーチバレーや鬼ごっこ、2日めは川遊びなど、時間によって内容が変わります。特に川遊びの時間には、クルーズ船の2階から川に飛び込む時間を設け、希望者は何度も何度もアマゾン川に飛び込んでいました。このような経験ができるのも日本人学校ならではのですね。

夜、寝るのは船の上です。低学年はピラルク号の船室です。エアコンが効いていてまさに快適です。高学年は一般のクルーズ船の2階部分にハンモックを吊るして寝ます。一般的なクルーズ船の2階部分は開けっ放しのオープンエアになっているので、各ハンモックには蚊対策として蚊帳を取り付けます。アマゾンの蚊はマラリアやデング熱の病原をもっていることがあり、蚊対策を充分にとる必要があるからです。私の赴任前は浜で寝ていた時期もあったそうですが、川の方が蚊が少ないとの理由で、岸から少し離れた船の上で寝るようになったそうです。これもアマゾンならではのですね。こうして1泊した子どもたちは、次の日のお昼頃にマナウスに戻ってきます。アマゾンでしか経験できないことを存分に楽しみ、一回り大きくなった子どもたちの姿がとても印象に残る行事でした。

